

改訂：2025 年 4 月 30 日

Cisco Wireless ライセンスの構成

Cisco Wireless ライセンス

Cisco Networking Subscription ライセンスモデルの一部である Cisco Wireless ライセンスは、Wi-Fi 7 アクセスポイントをオンプレミスネットワーク、ハイブリッドネットワーク、またはクラウド マネージド ネットワークに展開するのに役立つソフトウェアライセンスです。Cisco Wireless ライセンスは、Cisco IOS XE 17.15.2 リリース上で稼働している Wi-Fi 7 アクセスポイント（AP）でサポートされています。

Cisco Wireless ライセンスは、次の階層で構成されています。

- **Cisco Wireless Essentials（LIC-CW-E）**：ネットワークの管理に不可欠な基本的な機能を提供します。
- **Cisco Wireless Advantage（LIC-CW-A）**：ネットワークを管理するための追加の機能を提供します。これには、AP の自動配置や AI を活用した無線リソース管理などの高度な機能に加えて、必要不可欠な機能がすべて含まれています。



（注）

Cisco Wireless ライセンスの機能階層は、Cisco DNA Wireless の機能階層と一致します。

これらの各階層でサポートされている機能の詳細については、『[Cisco Networking Subscription データシート](#)』を参照してください。

利点

Cisco Wireless ライセンスには次のような利点があります。

- ライセンスの調達と更新のワークフローを簡素化します。
- シンプルでワンステップのオンボーディングと使用体験サポートします。
- オンプレミス、クラウド、ハイブリッドなど、さまざまな方法でネットワークをセットアップできる柔軟性を備えています。
- 特定のライセンスタイプに移行せずに、ライセンスの管理モードを変更できる柔軟性を備えています。
- 既存のネットワークにライセンスを簡単に追加できます。新たに追加されたライセンスには、親ネットワークの設定が自動的に継承されます。

前提条件

Cisco Wireless ライセンスを使用する前に、次の各項目を用意する必要があります。

- Wi-Fi 7 アクセスポイント
- Cisco IOS XE ソフトウェアバージョン 17.15.2

- ライセンス、デバイス、一般利用規約などのアセットを管理するように設定されたスマートアカウントおよび1つ以上のバーチャルアカウント
- 既存の販売ルートから購入可能なCisco Wireless ライセンス

Cisco Wireless ライセンスの注文

Cisco Wireless ライセンスは、Cisco Network Subscription ライセンスモデルを介して購入できます。詳細については、『[Catalyst Wireless Ordering Guide](#)』を参照してください。

Cisco Wireless ライセンスの構成要素

Cisco Wireless ライセンスソリューションは、次の要素で構成されています。

- **製品インスタンス**：Unique Device Identifier (UDI) によって識別されるシスコ製品の単一インスタンス。製品インスタンスは、ライセンスの使用状況を記録およびレポートし、期限切れのレポートや通信障害などに関するアラートとシステムメッセージを提供します。
- **スマートアカウント**：組織全体のシスコソフトウェア資産を管理できる一元化されたアカウント。スマートアカウントは、サブスクリプションレベルで関連付けられます。製品とライセンスのコレクションであるバーチャルアカウントをスマートアカウント内で設定できます。バーチャルアカウントは、スマートアカウント内のアセットを整理するために使用されます。
- **Cisco Smart Software Manager (Cisco SSM)**：ライセンスを含むすべてのアセットの発注処理が完了すると、それらが自動入力される集約ポータル。このポータルを使用すると、一元化された1つのWebサイトからすべてのシスコソフトウェアライセンスを管理できます。
- **Cisco Smart Licensing Utility (CSLU)**：CSLUは、ライセンスと関連する製品インスタンスをオンプレミスのネットワークから管理できるWindowsベースのアプリケーションです。Cisco SSMに直接接続する必要はありません。CSLUと製品インスタンス間の接続を確立してライセンス使用状況レポートを収集し、これをバーチャルアカウントにアップロードできます。

ライセンス管理

このセクションでは、Cisco Wireless ライセンスを設定して使用するためのワークフローの概要を示します。

1. スマートアカウントと1つまたは複数のバーチャルアカウントを設定して、シスコのアセット（ライセンス、デバイス、および一般利用規約）を構成します。スマートアカウントとバーチャルアカウントは、[Cisco SSM](#) ポータルで表示および管理が可能です。
2. 既存のチャネルからライセンスを購入または注文します。購入すると、アセットは組織のスマートアカウントとバーチャルアカウントで使用でき、[Cisco SSM](#) ポータルからアクセスできます。ライセンスを使用するには、ライセンスが正しいスマートアカウントとバーチャルアカウントにあることを確認することが不可欠です。
3. 必要なライセンスを設定して使用します。Cisco Wireless ライセンスの使用方法の詳細については、このドキュメントの後半のセクションを参照してください。

4. Cisco SSM にライセンスの使用状況をレポートする方法を設定します。

ステップ 1、2、および 4 の詳細な情報が必要な場合は、『[Smart Licensing Using Policy for Cisco Wireless Controllers](#)』[英語] を参照してください。

Cisco Meraki ダッシュボードを使用したライセンス管理の詳細については、『[Selecting a Management Mode for Unified Licenses - WIFI7](#)』[英語] 参照してください。

Cisco Wireless ライセンスの設定

Cisco Wireless ライセンスは、デフォルトで自動設定されます。これらのライセンスを明示的に有効にしたり、設定したりする必要はありません。



(注)

デフォルトでは、Cisco Wireless Advantage 階層がアクティブになっています。ライセンスレベルを Essentials 階層に変更する方法については、『[ライセンスレベルの変更](#)』を参照してください。

ライセンスステータスの表示

ライセンスを購入してアクティブ化したら、Web UI でライセンスのステータスと適合ステータスを確認できます。

ステップ 1 Web UI で、[Monitoring] > [Wireless] > [AP Statistics] に移動します。

ステップ 2 [AP Statistics] ウィンドウに表示される表に、AP によって消費されているすべてのライセンスが示されます。

ステップ 3 Cisco Wireless ライセンスを識別するには、[License Type] 列を確認します。この列には、AP によって消費されているライセンスのタイプが表示されます。Cisco Wireless ライセンスは、[CW] という値で表示されます。

ステップ 4 ライセンスの適合ステータスを確認するには、[License State] 列を確認します。この列には、ライセンスの適合ステータスが示されます。値は次のとおりです。

- [Non Compliant] : AP は不適合です。
- [Compliant] : AP は適合であり、機能しています。
- [N/A] : この AP は CW ライセンスではなく AIR ライセンスを使用していることを意味します。この場合、追跡できず、N/A ステータスが表示されます。
- [Policy Allowed] : この値は、ポリシーが WLC にインストールされている場合、またはスマートアカウントにカスタムポリシーがあり、WLC と信頼が確立されている場合に、適合であると見なされた AP に対して表示されます。



(注)

特定のライセンス予約 (SLR) を使用してライセンスを予約している場合、ライセンスは指示に従って予約されます。このシナリオでは、AP は [Policy Allowed] 状態で機能し続けます。

ステップ 5 非適合の理由を確認するには、[Non Compliant Reason] 列を参照します。値は次のとおりです。

- [Never Licensed]：これは、AP が Cisco SSM に一度もレポートしていないか、CSSM のスマートアカウントにライセンスがまったくないか、この AP に必要なライセンスが不足していることを意味します。
- [N/A]：これは、該当する非適合の理由がないことを意味します。これは、バージョン Wi-Fi 7 未満の AP を使用している場合、または AP が適合している、または [Policy Allowed] ステータスである場合に発生する可能性があります。
- [License Expiration]：ライセンスの有効期限が切れているため、更新する必要があります。

ライセンス数の表示

AP の各ライセンスタイプのライセンス詳細を表示するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Web UI の左ナビゲーションページから [Licensing] に移動します。

ステップ 2 各ライセンスタイプに対する AP の数を表示するには、ダッシュボードの [License count] 列を確認します。

[License Count] 列のハイパーリンクをクリックすると、ライセンスの詳細を含む [AP Statistics] ウィンドウが表示されます。

CLI によるライセンスステータスの確認

ステップ 1 **enable** コマンドを実行します。

特権 EXEC モードを有効にします。プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。

ステップ 2 **show ap summary license** コマンドを入力します。

Cisco Wireless ライセンスのライセンスタイプとライセンスステータスを含む、ライセンスの概要が表示されます。

構成の例を次に示します。

```
Device# show ap summary license
For AIR licenses, per AP tracking of license state is unavailable. Please use "show license summary"
to find status of AIR subscriptions
Policy allowed state means device is deemed compliant due to a policy downloaded from licensing
authority, please check installed policy
```

AP Name	AP Model	AP MAC	License Type	License
sim_ap_radsec-1	C9130AXE-B	00b2.b100.0200	AIR	--
sim_ap_radsec-10	C9130AXE-B	00b2.b100.0b00	AIR	--
sim_ap_radsec-11	CW9178I	00b2.b100.0c00	CW	Compliant
sim_ap_radsec-12	CW9178I	00b2.b100.0d00	CW	Compliant
APC414.A26F.5FD0	CW9178I	c414.a26f.5fe0	CW	Compliant

ここで、「Non Compliance Reason」の下の「-」は、該当する理由がないことを意味します。これは、バージョン Wi-Fi 7 未満の AP を使用している場合、または AP が適合している、または [Policy Allowed] ステータスである場合に発生する可能性があります。

ライセンスレベルの変更

ライセンスレベルを変更するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Web UI の左ナビゲーションペインから [Licensing] に移動します。

ステップ 2 [Licensing] ウィンドウで、変更するライセンスを選択します。

ステップ 3 [Change Wireless License Level] を選択します。

ステップ 4 [Administration] > [Reload] の順に選択してデバイスをリロードし、ライセンスレベルの更新を有効にします。

CLI を使用してライセンスレベルを変更するには、**license cw <license-level>** コマンドをグローバル コンフィギュレーションモードで使用します。

設定の例を次に示します。

```
Device# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Device(config)# license cw ?
    advantage    Cisco Wireless advantage License Level
    essentials    Cisco Wireless essentials License Level
Device(config)# license cw advantage
Please reload device to get cisco wireless level updated.
```

Cisco SSM への接続

ライセンスの使用状況を Cisco SSM にレポートするには、インスタンスと Cisco SSM ポータル間の接続を確立する必要があります。組織のネットワーク要件とセキュリティポリシーに応じて、Cisco SSM への接続は、インターネットを介した直接接続、仲介アクセスを介した接続、または外部と接続していないネットワークのオフライン通信を介した接続となります。

この接続を初めて確立するときは、次の手順を実行します。

ステップ 1 Web UI の左ナビゲーションペインで [Licensing] をクリックします。

ステップ 2 [Service Settings] タブで、[Connection Mode] ドロップダウンリストから該当するオプションを選択します。

Connection Mode	説明
CSSM に直接接続	製品インスタンスがレポートをトリガーし、返される ACK をインストールします。

Connection Mode	説明
CSLU を介して CSSM に接続	製品インスタンス開始型通信：製品インスタンスがレポートをトリガーし、返される ACK をインストールします。CSLU は RUM レポートを CSSM に送信し、CSSM から ACK を収集します。 CSLU 開始型通信：CSLU インターフェイスから使用状況を収集する必要があります。。CSLU は RUM レポートを CSSM に送信し、CSSM から ACK を収集します。
CSLU は CSSM から切断	製品インスタンス開始型通信：製品インスタンスがレポートをトリガーします。次に、切断モードで使用状況を報告する必要があります。 CSLU 開始型通信：CSLU インターフェイスから使用状況を収集し、切断モードで使用状況をレポートする必要があります。
CSSM への接続なし、CSLU なし	ライセンスの使用状況は、製品インスタンスに記録されます。RUM レポートを製品インスタンスのファイルに保存し、インターネットとシスコに接続しているワークステーションから CSSM にアップロードする必要があります。 license smart save usage 特権 EXEC コマンドを入力して使用状況を保存します。

インスタンスと Cisco SSM の間に信頼が確立されると、ステータスに [Trust Established] と表示されます。信頼が確立されると、ライセンスの使用状況が定期的にレポートされます。

これらの各接続モードとそれぞれのワークフローの詳細については、「[Cisco SSM への接続](#)」を参照してください。

アップグレードおよびダウングレードのシナリオ

Cisco IOS XE 17.15.2 へのアップグレード

- Cisco IOS XE 17.15.2 にアップグレードしても、Wi-Fi 7 AP を追加しない場合、既存のライセンスは以前と同様に機能します。
- Cisco IOS XE 17.15.2 にアップグレードし、Wi-Fi 7 AP を追加する場合は、AP に対応する Cisco Wireless ライセンスを購入してください。Wi-Fi 7 AP がアクティブになります。Cisco SSM ポータルまたは Meraki ダッシュボードから、Cisco Wireless ライセンスのステータスと使用状況を管理および追跡できます。古い AP は、レガシー（DNA）ライセンスで引き続き機能します。

Cisco IOS XE 17.15.2 からのダウングレード

- Cisco IOS XE 17.15.2 からダウングレードし、Wi-Fi 7 AP が存在しない場合、古いライセンスは以前と同様に機能します。
- Cisco IOS XE 17.15.2 からダウングレードし、Wi-Fi 7 AP が追加されている場合、その AP は機能しません。



(注)

Cisco Wireless ライセンスの機能階層は、Cisco DNA Wireless の機能階層と一致します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。